

経営幹部セミナー事前予約企業担当者各位

2020年9月2日  
慶應義塾大学ビジネス・スクール  
校長 余田 拓郎  
セミナーディレクター 坂爪 裕

新型コロナウイルス感染の収束が見えない状況下、社会では新しい生活様式での取り組みが始まっております。各社様におかれましても苦慮されながら経済活動に取り組みられていらっしゃるものと存じます。

第123回経営幹部セミナーは、所轄保健所への事前相談、ホテルとの様々な対策を検討した上で、下田東急ホテルでの開催を検討してまいりました。しかしながら、受講生のみなさまの健康、安全を最優先に、かつ地域医療の現況等に鑑み、全面オンライン形式での開催を決定いたしました。

以下に、オンライン形式（Zoom）での経営幹部セミナーの内容（概要）、教育効果についてご説明申し上げます。受講を検討いただく際の参考となれば幸いです。

#### 1、プログラムの骨子

11日間のプログラムの骨子（開講式・オリエンテーション・取り扱うケース数・講演・終講式等）については変更ございません。

#### 2、各ケースの教授方法

通常通りグループ討議・クラス討議を行い、各ケースで取り上げられている課題および解決の方向性について、理解を深めていただくプロセスについて変更はございません。また、各講師がクラス討議で行う問いかけ（設問）、受講生からいただいた発言内容をまとめていくプロセスについても、原則として、黒板あるいはホワイトボードなどを用いたスタジオ形式による授業配信を予定しておりますので、ほぼ変更はないと考えております。

#### 3、オンライン形式（Zoom）でのセミナー開催に向けた対策

オンライン形式でのセミナー開催においては、遠隔ソフトウェアに習熟していただくとともに、オンライン形式においても活発な討議が行われるよう、現段階で以下の対策を検討しております。

- ①まず研修開始前に接続テストを行わせていただき、各受講生が安心してご受講いただける通信環境の整備・確認を行うとともに、初日のオリエンテーションでの模擬ケースの演習を通じて、スムーズにご発言いただけるようケース討議のプロセス、また通信機

器に慣れていただければと考えております。

- ②さらに、グループ討議・クラス討議においては、音声を通じた発言だけでなく、チャット機能を用いた意見や質問の投げかけが行えるよう配慮することで、異業種交流を促進して参りたいと考えております。

#### 4、異業種交流について

ホテル内での、文字通り寝食を共にした関係構築はオンライン型の場合には難しいことが想定されますが、この点については、現段階で以下の対策を検討しております。

- ① セミナー初日には従来、名刺交換会と称して各自自由に名刺を交換していただく場を設定しておりましたが、これをオンラインでの名刺交換会に変更し、ご自身の自己紹介ならびに、受講生同士が自由に対話できるセッションを設けることを予定しております。本イベントが、引き続き 10 日間の関係構築の一助となることと考えております。
- ② また、セミナー最終日前日の夜には、オンラインでの懇親会を予定しております。例年であれば、主管・副主管教員、および事務局員と受講者の皆様が参加者となりますが、オンラインの利点をいかし、11 日間の出講教員ができる限り参加することも可能となります。
- ③ さらに、ご受講後のネットワーク構築にご利用いただけるよう、事前にご派遣担当者様のご承諾のもと、名簿(データ)を作成し配付すること等、コミュニケーションの場の促進も検討しております。

#### 5、特別企画

今回のオンライン型のセミナーでは、従来ホテルで行ってきたセミナーに近づけるべく様々な課題について対策を講じるだけでなく、ホテル(下田)で行う地理的な制約が解消されるというメリットにも着目し、オンライン型セミナーならではのプログラムを充実させていきたいと考えております。具体的には、午後5時以降の時間を用いて、11日間のうち2回、現役の経営者による講演(質疑応答を含め各90分程度)を追加します。

以上の対策・プログラムの充実を通じて、オンライン型のセミナーに変更しても、従来ホテルで開催してきた集合研修の受講効果を感じていただけると考えております。